



2025年11月15日(土)

## 群馬スペースアワード2025

GSA2025にジョイント! 団員たちは、ガチ競技の「モデルロケットチャレンジ」に2チーム、そして「モデルロケット教室」に参加。全19チーム中、惜しくも入賞は逃しましたが、それぞれが役割を担い、自分たちのロケットを作り上げた経験は本物! 普段とは違うスタイルで力を合わせ、大きな学びと達成感を得ることができました。モデルロケット教室では、いつもとは異なる機体を製作し、広い野球場から気持ちよく大空へ発射! 青空へ吸い込まれるロケットに、歓声が響きました! GSAは、九州工業大学大学院 工学研究院 宇宙システム工学研究系の前田先生が企画、上毛新聞社が主催し、県内の宇宙関連企業が協賛するイベント。今年で3回目となり、宇宙教育の機運を高め、未来の宇宙産業人材を育てることを目的に開催されています。日本宇宙少年団は、東松山分団が初回から、本部が2回目から、前橋分団・館林分団は3回目から運営の一部を協力しています。団員と参加者の笑顔と歓声から、きっとそれぞれの“将来の夢”に一歩近づいた一日になったはず。



2025年12月20日(土)

## やっくまクリスマス例会

12月は毎年恒例のクリスマス会

今年も盛りだくさんの内容で開催しました!

①先日のGSAに参加した「モデルロケットチャレンジ」について、現役高専リーダーからの報告! ②アイスクリームの種類や歴史、世界のアイスクリームについて、大学生のお姉さん団員からの楽しいレクチャー! 幼かった団員たちが、こうして立派に成長し活躍してくれる姿は本当に嬉しく、頼もしいですね! ③小暮副分団長ご夫婦によるメインイベント、アイスクリームづくり! 二人一組で卵・牛乳・生クリームなどをまぜまぜ、最後にトッピング♪ みんなで作ったアイスは格別の美味しさでした! ④小島リーダー親子によるクリスマスメロディーの生ライブが笑顔あふれる楽しい時間はあっという間! 気がつけば理系の女子団員もたくさん増え、活動の幅もどんどん広がっていますね!



2026年1月10日(土)

## やっくま凧揚げ

やややっくま〜 あけましておめでとうございます!

本年も宇宙少年団前橋分団(やっくま)をよろしくお願いたします!

2026年最初の活動は、凧・たこ・蛸・タコ!? 凧揚げ

定番の凧から大きな凧、連凧まで、種類もサイズもさまざま集めて、みんなで楽しく凧揚げです! …が、この日に限って上州名物「からっ風」が静か! 揚力を上げるため、団員たちは走る! 走る! リーダーも負けじと走る! 走る! お正月の食べ過ぎ解消にもつながった…はず?!

見学に来てくれたお友だちは、なんと4月から入団が決定!

団員同士の交流はもちろん、保護者の皆さん同士の意見交換もでき、たまにはこうしてゆっくり外で活動する時間も大切ですね!



2026年2月14日(土)

## モーターから知るEV

「モーターから知るEV」車は大きく分けてエンジン車・ハイブリッド車・EVの3種類。今回はその中でも「EV」にフォーカス。座学と工作で徹底探究! クリップモーター工作は、エナメル線を丁寧に巻き、被膜を削り、回転バランスを整える。簡単そうで奥深いけど、全員が完成! 手作りモーターが回った瞬間、歓声が広がりました! チーム対抗EVレース! 手動発電で充電、コンデンサに蓄えた電気で走らせる真剣勝負。どうすれば効率よく充電できる? タイヤがスリップしない工夫は? 身近な素材で改良できないか? 各チームが知恵を出し合い挑戦。結果は、男子最年少チームの勝利! 挑戦と工夫が勝利をつかみました。そして団員からバレンタインデープレゼントも! 会場は終始大盛り上がり! 例会担当は、団員からリーダーになった大佐古リーダー。パパもママもリーダーとして準備から運営まで頑張ってくれました。団員がリーダーとなり、また次の世代を育てる。これこそ、やっくまの力。たくさんの皆様に支えられ活動を続けられることに心より感謝いたします。

# 日本宇宙少年団 前橋分団 2025年度活動報告

ご支援をいただいている団体及び法人団員の方々

(順不同、敬称略)

ものづくり指南塾

旭化成株式会社

環境セービング建設株式会社

株式会社ホンダカーズ群馬

株式会社アリギス

協和商工株式会社

三幸機械株式会社

有限会社新井電業

学校法人有坂中央学園

伊藤・深田登記事務所

株式会社ウイング

上高井土建株式会社

蔵前産業株式会社

下田工業株式会社

株式会社ニッパンレンタル

大栄産業株式会社

有限会社中央電機商会

番貞鋼材株式会社

株式会社ヒロキコーポレーション

ホテルルカ

株式会社前橋タイヤサービス

株式会社真柄鉄工所

嶺工機株式会社



<http://yacma.jp>

宇宙時代の地球人を育てる  
**YAC**  
日本宇宙少年団 前橋分団  
YOUNG ASTRONAUTS CLUB - JAPAN MAEBASHI CHAPTER





2025年4月12日(土)

## ロケットグライダーを作って飛ばそう!!

新年度最初の活動は、群馬高専を舞台に開催! 平社信人教授率いる機械工学科の皆さんにご協力いただき、みんな大好きなロケット工作&打上体験を実施しました!  
今回は、いつもとはひと味違う“本格的な2種類のモデル”から選べるスタイル。ロケット型:羽根の工夫で回転しながら飛距離を伸ばすタイプ。グライダー型:大きな翼で空を滑空しながら遠くまで飛ぶタイプ。部品や組立用のジグは、すべて学生の皆さんが事前に丁寧に準備してくださり、難しい作業もスムーズに完成!当日は、やや斜めに角度をつけて打上げる特別仕様。迫力のある打上音とともに、空高くヒューン!と飛ぶ姿が大興奮!  
終了後の感想タイムでは、「楽しく打ち上げられた!」「高専にはどうやったら入れるの?」など、団員たちの好奇心と笑顔が溢れるひとときとなりました。また、九州工業大学前田恵介教授にも材料の一部をご提供いただきました。改めまして、平社先生をはじめ群馬高専の皆様、九工大の前田先生、心より感謝申し上げます。



2025年5月31日(土)

## 『エッグランディングプロジェクト』

~重力加速度を支配して、ニュートンの常識をひっくり返して♡~

高さなんと約5mからゆで卵を落としても割れない“着地ギア”を、A4用紙5枚だけで作るチャレンジ! 軽さ・正確な着地点・アイデア発表などでポイントが加算される、工夫とひらめきが試される競技です! これまで落下にはバケツを使っていましたが、今年はなんと! 海野リーダーが新開発した装置「QuickPurge™」が初登場! 電磁アクチュエーターやソレノイドを使った、最新の切り離しメカニズムです! しかも、スイッチ操作はmicro:bitを使ったプログラムによる遠隔操作! 全てがバッチリ動作して、パラシュートの開き方もとてもスムーズ! その結果、なんと8名がエッグランディングに成功しました~! 🍀🌟  
今回は見学に5名の方が来てくれました!  
初めましての仲間と一緒に、みんなでワイワイ楽しく活動できて嬉しかったです😊



2025年6月7日(土)

## ぐんまロケットチャレンジ「ワークショップ」

やっくまから「ぐんまロケットチャレンジ」ワークショップに2チームが参加しました!  
暑い中ご指導くださった前田恵介先生(九州工業大大学院工学研究院宇宙システム工学研究系)や上毛新聞社の皆さま、ありがとうございました。  
前田先生からはロケットの仕組みについての講義もあり、団員たちは、ロケットの制作だけでなく、発射装置の取り付けやコントローラーの接続など、普段はリーダーが行う作業にも挑戦! これで「モデルロケット4級ライセンス」も取得~!  
11月には、群馬地区予選を兼ねた本番「ぐんまスペースアワード」に挑戦予定! 本番までに各チームがアイデアを出し合いロケットを制作。普段とは違う大きなエンジンを搭載したどんなロケットが出来上がるのか今から楽しみです! 団員たちの成長がますます楽しみです!  
チームやっくま、頑張るぞ~🚀



2025年6月22日(日)

## 『水ロケット🚀』~夏が始まった合図がした~♪

水ロケットだからいいんだ~♪ 水ロケットの行方はどこだ! 映画じゃない僕らの番だ!! 🌟

暑い館林ということで熱中症対策を万全に広い射場で思いっきり水ロケットを飛ばしました。70m先の目標物に着地させる「定点」となるべく遠くまで飛ばす「飛距離」の2つの計測を行いました。参加者は来月の本番に向けた練習となるため、打上角度や液体燃料(水)の量、加圧量など何度もテストを繰り返していました。また、機体を回転させるために尾翼に角度をつける団員もいて、みんな暑い中熱心に探求していました。  
熱中症対策として、対策備品や電動コンプレッサーを準備することで、より安全により効率的な運営を進めることができました。  
7月6日の大会に向けて準備万端!!  
いつもご協力をいただける保護者の皆様と我々の活動を力いっぱい応援して下さる法人団員の皆様に心より感謝申し上げます。



2025年7月6日(日)

## 水ロケット関東ブロック大会🚀

7月の例会は、向井千秋記念子ども科学館にて館林分団と逗子分団、前橋分団の3分団による水ロケット大会! いつものように熱中症対策を万全に広い射場で思いっきり水ロケットを飛ばしました。70m先の目標物に着地させる「定点」となるべく遠くまで飛ばす「飛距離」の2競技。飛距離では前橋分団121mが優勝、2位館林分団120m、3位119m前橋分団。定点では逗子分団がなんと40cmで優勝、2位前橋分団140cm、3位前橋分団155cm。デザイン賞はかわいく仕上げた前橋分団。と素晴らしい成績を納めることができました! 入賞できなかった団員達も暑さに負けず、びしょびしょに汗をかきながら楽しむことができました! 熱中症対策として、いつもの対策備品や装備の他に計測機の安全を考慮したパラソルを新設し、より安全で効率的な運営を進めることができました。保護者の皆様、各分団のリーダーとOBの皆様、いつも応援して下さる法人団員の皆様、心より感謝申し上げます。



2025年8月2日(土)、3日(日)

## 2025 夏休み恒例! ギャラクシアンスペースキャンプ

飛行機が主役! 岐阜&愛知、航空体験の2日間! 片道7時間の移動! だけど…ムダなし! 朝7時に出発し、バスに揺られ到着したのは日本最大の航空博物館「かかみがはら航空宇宙博物館」。小島親子による事前学習&コミュニケーションゲームで、車内から既に熱い学びと交流がスタート! 圧巻の航空博物館! 見て・聞いて・感じて・学んだ! 本物の飛行機を間近で見たことがない団員たちも、大迫力の機体に目を輝かせていました。館内では、結和リーダーによる解説ツアー! 木製から金属製への変化など、飛行機の進化に気づく団員たちの観察力! 夜はリーダーと仲間ですらに深まるキズナ。紙飛行機イベントや普段は話せない話題も飛び出してみんなの距離もぐっと縮まりました。2日目は「あいち航空ミュージアム」体験シミュレーターや職業体験では、「見て終わり」じゃないリアルな体験を通じて、新たな発見! 帰りのバスでは、感動の感想発表「夢に一步近づけた」「未来が楽しみになった」そんな言葉に、リーダーたちの疲れも一気に吹き飛びました! 最高!



2025年9月6日(土)

## プログラミング④ プログラミンぐろ~👍

4回目は、遠隔制御。宇宙船や月面基地の中から外のロボットや機械を操作することを想像しながらリモコンプログラムをつくりました。今回は、初心者クラスと経験者クラスに分かれて学び、最後にみんなで競技。初心者はプログラムを作る画面の操作や、micro:bitの機能について。ブロックの中の値を変えると、micro:bitの動きがどう変化するか、想像できるようになるまで、少し時間が必要です。経験者は、micro:bitを2つ使ったリモコンバギーのプログラムを作りました。送信機(リモコン)担当と受信機(バギー)担当と分かれ、話し合いながらの共同作業。今までと違った活動で、通信の難しさもあり、なかなか思う通りに動きません。「英語の命令がわからなかった」「二人で協力して作ったことは良かった」など、うまくいかない原因を考えてプログラムを直して試してみる。次回は、もっと試行錯誤できる時間をとりたいですね。



2025年10月25日(土)

## 日本宇宙少年団前橋分団 10周年記念 宇宙カレッジ2025

10月25日は、日本宇宙少年団前橋分団が結団してちょうど10周年の日! 団員は67名。この節目の日に、たくさんの方々にお集まりいただき、とても嬉しい一日となりました! 山崎直子理事長からお祝いのビデオメッセージをいただき、記念講演会ではJAXA宇宙科学研究所の中島晋太郎准教授(前橋市ご出身)による「小さく・賢く深宇宙をめざす」をテーマに子供の頃の想いや深宇宙の最前線のお話を聞くことができました。午後は、「宇宙不思議教室」と「水ロケット教室」の2つの体験教室を開催。定員を超える応募や笑顔で楽しむ様子から子どもたちの宇宙への関心の高さを感じました。小学生として入団した団員が、今では宇宙関連企業に就職するなど、それぞれの夢を実現し始めています。結団当初、「前橋から宇宙飛行士を輩出するまで続けよう」とスタートしましたが、今では“宇宙を目指す”にはさまざまな役割があることにも気づきました。これからも、リーダー一人ひとりの発想と行動力を活かして、「宇宙時代の地球人」を育てるお手伝いを続けます。